



図書館だより 10月

令和8年10月 発行
深川第七中学校図書館



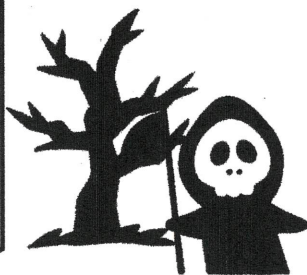
朝晩が涼しくなってきました。

寒暖の差が激しいですが、みなさん体調は崩していませんか。

図書館には新しい本が続々と届いています。ぜひチェックしに来てくださいね。

怖～い話…

小野不由美について



9月24日(木)お昼休みの「怖い話」にご参加されたみなさん、ありがとうございました。

最近雨が多いですね。今回の怖い話は、雨が降ったら思い出して怖くなってほしい…という思いを込めて、「雨女」を読みました。小野不由美『鬼談百景』という本に載っています。このお話は、読者から寄せられた99の体験談の内の一つです。というわけで、今回は小野不由美の紹介をしたいと思います。

小野不由美は1960年12月24日大分県中津市に生まれ、設計事務所を営んでいた父のもとに生まれました。小野不由美の郷里には、怪奇伝説や言い伝えが数多く残っており、幼少期には両親にせがんで怖い話を聞かせてもらっていたそうです。夫は『十角館の殺人』でおなじみ、推理作家の綾辻行人です。

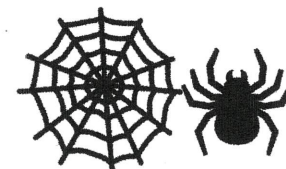
■ 本の紹介コーナー ■



『十二国記』シリーズ

小野不由美 著/新潮文庫【913/オ】

累計1300万部突破の、超人気シリーズ。平凡な毎日を送っていた高校生・中嶋陽子の前に、ある日、ケイキと名乗る金色の髪の青年が現れ、陽子は教室から見知らぬ世界へと連れ去られてしまう。そこは地図上にない異世界、十二国だった。



『緑の我が家』

小野不由美 著/角川文庫【913/オ】

作家背筋(『近畿地方のある場所について』)が怖いとおすすめ、本格ホラー小説。高校1年生の荒川浩志は、一人暮らしをするために〈ハイツ・グリーンホーム〉に引っ越してきた。新しい部屋から外をのぞくと、そこには妙な気持ちになる赤い鳥居があって…。



～10月の司書がいる日～

8日(木)

15日(木)

22日(木)

29日(木)

*変更になる場合があります